

## ヨリタ歯科マニアのあなたも知らない 謎の2日間の出来事

「ウルルン滯在記」へ吉田副院長が出演しました。  
9月18日、19日、スタジオ収録の見学をかねて  
東京ディズニーリゾートへ慰安旅行に行ってきました。  
その時のチームメンバーの感想です。



まず目に入ったのは通りに並んだキャストでした。

“笑顔でおはようございます”

“行ってらっしゃ～い”

まるで一人、一人に声を掛けているかのようでした。店やアトラクションのスタッフ、全ての人が顔を合わす度に挨拶をして、気持ちいいものだなあと感じました。先生がいっていた、ディズニーランドには自動販売機がないということを私は今まで全く気付いていませんでした。



ディズニーランドは、お客様との**コミュニケーションを大切**にしているということを実感しました。



吉田先生が**ウルルンに応募**すると聞いた時は、ビックリしました。自分の身近な人が応募するとは、思ってもいなかつたからです。しかも、吉田先生は、8013人の中みごと選ばれました。**自分の夢を実現**させてしまうとは、本当にすごいと思いました。

吉田先生がウルルンに、応募してから出演が決定するまで、  
スタッフ全員で先生を応援出来たこと、良い思い出になりました。  
**こんなに素敵な仲間に巡り会い**、一緒に仕事をできることを  
嬉しく、誇りに思います。

「おはようございます！」早朝7：00なのに威勢のいい声が響く、夢の国ディズニーランドです。普段は、自分が患者さんに対して、歯みがきや治療をして喜ばれていますが、今回は逆の立場でディズニーランドの風景、表情を見ていきました。

**キャストの表情は笑顔で生き生きしていました。**ディズニーランドで学んだことは、キャストがお客様の立場に立ち、一緒に楽しんでいることです。その元気をお客さんに十分、与えることの出来る、**スタッフの心意気に感動しました。**



歯科医院もある意味サービス業と同じです。チームワークを土台に患者さんと同じ目線に立ち、**喜びを分かち合い、一人一人に多くの笑顔**を与えられる、スタッフでありたいと思いました。



一番に教えられたことは、**誰にでも可能性がある**ということです。よく“私には無理だから”と、何もしない今まで、諦めてしまう人がいます。私自身は結構積極的で、進んでやる方なのですが、**第一歩を踏み込む勇気**を吉田先生に、頂いた気がします。番組のアマゾンの裸族との掛け合いで、戸惑った吉田先生の、彼らに受け入れてもらいたい、

**常に何かできる事はないか**と、考えている姿に強く心を打たれました。現地で、歯医者の看板作りに、没頭している姿は、輝いていました。ウルルンでは、**精神面**で吉田先生にいっぱい学びました。  
**一生懸命になっている姿**はすごく、輝いていて、生き生きしています。吉田先生は、前以上に、**たくましく、一つ成長した気がします。**  
私も、がんばらねば・・・

## 予防アドバイザー 竹中 裕美

ディズニーランドもウルルン滞在記も夢と希望に溢れ、**楽しく癒され、元気をもらうことが出来ました。**

また、どちらもプロ意識が高く、歯科医院におきかえて考えられることが多かったです。

パーク内でのキャストの笑顔、ゴミ拾い、ミスのない演技、お客様に対するサービス、収録時のスタッフのきびきびした動き、決められた事を時間内に完璧にこなす姿勢、全てが勉強になりました。今後この**貴重な体験**を必ず役立てるため**新しい気持ち**でガンバっていきます。



## 衛生士 角野 幸子

ウルルンの収録では、吉田先生の頑張りを見て、**何にでもチャレンジする大切さを感じました。**

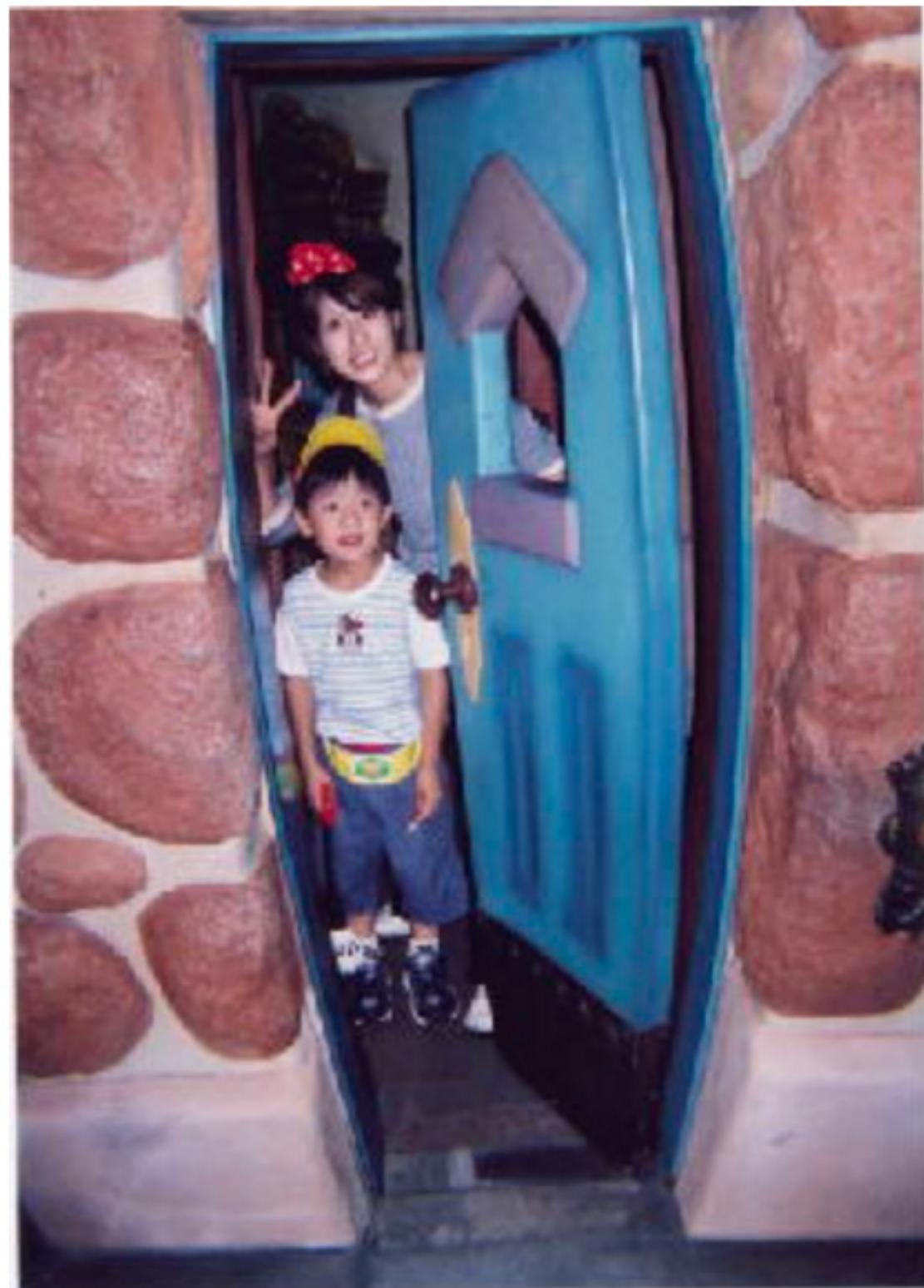
また、収録時スタッフの、集中力はスゴく、「**プロ**」という意識が伝わって、鳥肌がたつくくらい感激しました。

ディズニーランドにしても、ウルルンにしても常に自分を高める意識をもつ事が、いいものを作るため、大切なことなんだと気付きました。

仕事中は、**歯科衛生士として**、患者様と楽しく会話する時、患者様のことを、真剣に考えて分かりやすく説明する時、子供達と、一緒に笑っている時など、いちも「**プロ**」としての自覚と責任感をもっていようと思いました。

**最初から諦めずに、チャレンジしてみよう**と思います。

やりたい事を見つけたら、いろいろ考えすぎず、前向きに行動していきたい。いつも笑顔でいたい。ミッキーやミニーのように**みんなから愛されるよう努力します。**



ディズニーランドでは、偶然車イスの人がいて、その時、キャストはどういう対応をするのかを見ていると、車イスで入れる所を聞いていました。キャストの人が車イスを押しながら、その人を楽しませようという気持ちから、色々な乗り物の説明とか、楽しみ方、一つ一つ、丁寧に顔をのぞき込みながら、笑顔で対応していました。

私はその光景を見て、吉田先生の言葉にあったように



### 「人のために役立ちたい」

### 「一人一人を満足させてあげたい」

という気持ちを持って人に接することで、自然と、普段の行動、患者様への対応の変わるものではないかと思いました。

私は「人の役に立ちたい！」です。私の笑顔で人が、幸せになれるなら、これ以上嬉しいことはありません。

衛生士、宮本誠子として、技術面で未熟なところは、日々学び、他の人にはない**私だけの個性**を生かしたいと、思いました。

吉田先生に、たくさんの良い思い出をもらいました。

私も、次は誰かに良い思い出をプレゼントしたいと、思っています。



ディズニーランドでアイスクリー  
ムを食べている時、暑さでアイス  
がかなり溶けて、地面にポタポタ  
とアイスの液をかなりこぼしてし  
まいました。私は、暑いからすぐ  
に蒸発するだろうと思って、その  
場を後になると、ディズニーラン  
ドの清掃係さんが、すぐにモップ  
等を持ってきて、掃除してくれま  
した。

私は、その対応の早さに驚き、係  
りの人申し訳なく思いました。  
彼を含め、多くのキャストのおか  
げで、私たちが、**気持ちよく過ご  
せることを感謝**したいです。

ウルルンのスタッフも、皆とても  
熱心で、まず、自らが楽しむこと  
が大事なんだなと思いました。

**楽しい事に周りを巻き込んで、も  
っと楽しくなる方法を、2日間で  
体験できました。**この貴重な体験  
を生かし、今後ヨリタ歯科でも、  
**ワクワク楽しい診療、予防、カム  
カムクラブを、作っていきたいと  
強く、思いました。**



## 衛生士 竹岡 由起

ランドの中でスタッフの行動に目を向けていました。指を差す時は、2本指、自動販売機がない、などは、もちろんの事小さい子供や大人にまでとても親切に対応しているのを見て心から素晴らしいと思いました。

ディズニーランドは夢の国と言われるのはミッキー達のキャラクターだけでなく、暑い日も、寒い日も笑顔でコミュニケーションを大切にしているスタッフ達の苦労と努力があると実感しました。

働いているスタッフとお客様との会話など、とても勉強になりました。

大人も子供も夢の国にいさせてくれる気持ちになりました。

歯科医院でも、こんな気持ちにさせる事が出来るよう、患者さんの不安や恐怖を和らげれるような会話や笑顔を大切にしていきたいと思います。



吉田先生の頑張り、ガッツには本当に驚かされました。VTRの先生は普段見ているしんちゃん先生でした。全然知らない国にいっても、自分らしさをそのままだせる先生はカッコよかったです。尊敬しました。そんな先生に“やる気を出せば何でも出来る！！”ということを行動で教えて頂いた気がします。

私は、歯科衛生士になって1年目で、出来ないこともたくさんありますが、しんちゃん先生のようにガツツで乗り越えていきたいと思います。

## 衛生士 寺田 悅子

今回、男の子供2人（周平くん 9才、和真くん 6才）と共に参加してくれました。

パーク内ではファーストパスやパレードの席を取るのに走りまわり、大活躍でした。

私も彼らとコーヒーカップに乗りましたが、ぐるぐる回されて大変な目に合いました。

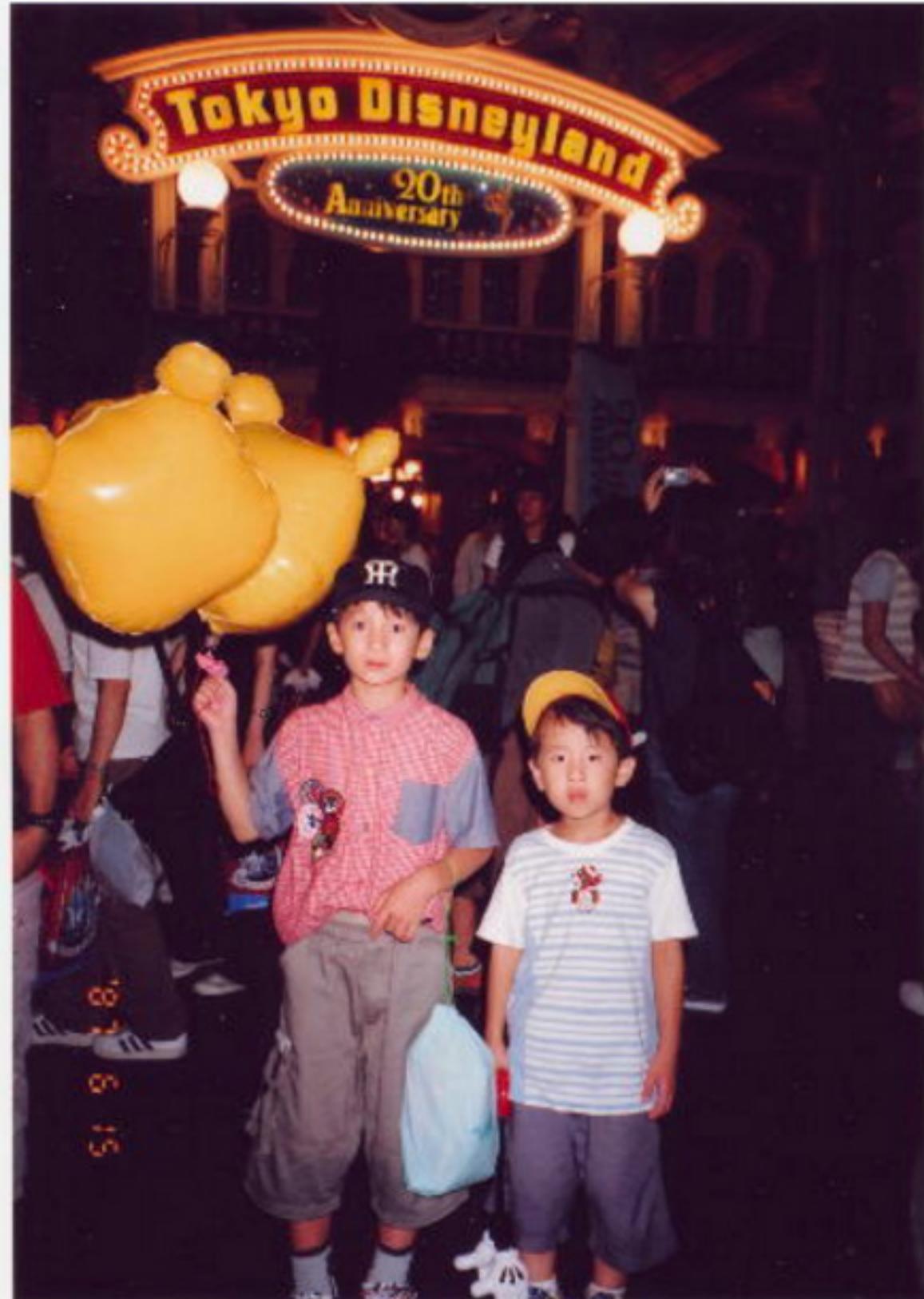
ここで、一つの疑問が湧き起きました。

それは**子供たちの元気の源**は日頃の寺田さんのパワーが彼らに遺伝したものか、それとも子供さんたちに負けないよう彼女も**テキパキ行動する**ようになったのか。

それは**子供たちの元気の源**は日頃の寺田さんのパワーが彼らに遺伝したものか、それとも子供さんたちに負けないよう彼女も**テキパキ行動する**ようになったのか。夜はこのことで寝れませんでした。

2日目は**六本木ヒルズ**にも行ったとか。寺田さん本当に2日間お疲れ様でした。

（院長から）



## 衛生士 田村 香織

ウルルンでは、瀬川さんといい、吉田先生といい**意志の強さ、学ぶ事の大切さ、人との交流の楽しさを勉強しました。**

ヨリタ歯科クリニックのメンバーは、チームワークがあると思いました。それは日々、ミーティングを通して**互いを理解し合えている**からかなあとthoughtいました。

これからも**笑顔とコミュニケーションの絶えない医院**であり続けることが大切であると思いました。



### ディズニーランドで受けた気付き

○パーク内だけでなく、駅、バス、ホテルを含めた街全体が**ディズニーの夢と魔法の王国**の雰囲気で統一されていて、パークを出た後も気持ちよく過ごせました。

○**キャストの大半が女性**で、皆様楽しそうに生き生きとしながらも、てきぱきと気持ち良く働いていました。



○ヨリタ歯科の**団結力、チームワークの良さ**、通常出来ない事（スプラッシュマウンテンの写真など）が、皆の気持ちが1つになれば可能になることが分かりました。

○当院のチームメンバーは**遊びも仕事も貪欲**で、パワーにあふれ、どこにいても目立つ存在でした。



### ウルルン収録で受けた気付き

この2日間の体験から具体的に生かせること

○どんな時でもどんな方にでも**同じレベルの医療サービスを提供出来る**ようメンバー全員で取り組みます。

○**ヨリタ歯科にまた来たい！**と思って頂ける様な体験を患者様に提供し続けます。

○歯科医院や**ドクターがもっと身近な存在**になるよう、患者様とのコミュニケーションを大切にして、更に**診療室から地域へと活動の場を 広げていきます。**例えば、地域紙やメルマガなどで情報発信します。

日も暮れ始め頭の中は完全にディズニー モードになり 「世間のしがらみ」 等を忘れることが出来ました。全てはゲストのため、ディズニーのマジックにかかっていたのだろう。また、今回行く前に、ランドかシーか個人的に選べるようになっていたが、バラバラになるのが嫌で、統一することを提案した。結果的には良かったと思います。後で思い出話をする場合、全員で共感することができるからである。団体行動であるので、ある程度の制約は必要であり、新たなプロジェクトを立ち上げる場合全員まとめていく上で、大事であると思う。院全体が一つの方向に向かっていくことが出来ればどんな困難な問題でも乗り越えていけることを、今回通じて学んだ。





いつも冷静な私も（？）この2日間は大いに楽しませて頂きました。皆の前では、この2日間で「学んだ事をレポートにして提出して下さい。」と言いましたがその私が、そんなことを忘れて、大はしゃぎてしまいました。

そして、気付くと2日目も、一番早く起きてディズニーシーに開扉前から並んでいました。「やっぱりディズニーはすごい」と一人、アーリーアメリカンフロントでお酒を飲みながら、感激していました。

この話には続きがあります。何を血迷ったか、4月1日の私のバースデイに「家族みんなでホテルミラコスタでお祝いしよう。」と帰った後、妻に宣言していました。10月1日に電話をしました。（予約開始が半年前からなので。）実はこれが大変で、9時から電話をかけ続け、やっととれたのが、12時過ぎでした。予約が取れた時、ミラコスタのキャップをかぶり、思わずガッツポーズをしてしまいました。

右がその時の写真です→



ここであなたはまた疑問に思うかも知れません。「平日の昼間に仕事もせずに！あらまあ～」と。御安心下さい。

その日は水曜日のため、私はお休みでした。診療そっちのけで、電話の前にかじりついていたのではありません。そしてこの2日間の興奮はいまだに私の胸に続いている。

その証拠をご覧下さい→



そうです。私の胸に光輝いているものは「ディズニーリゾートライン」というパークとオフィシャルホテルを結ぶシャトルバスです。私は、このバスが今回1番気に入りました。ですから、診療中はバッヂを胸、院長室ではミニチュアバスで遊んでいます。そして自宅にはステッカーを貼っています。



おっと、ついつい、くだらない話が長くなってしまい申し訳ありません。それくらい、この2日間は私にとって、夢のようでした。長々と何を言いたかったかといえば、その夢をチームメンバー全員で共有出来たことの素晴らしさをあなたに伝えかったです。今回の吉田先生の快挙をメンバー全員で分かち合えたからこそ、ここまで盛り上がったのだと思います。この2日間に起こった“夢と魔法”本当にありがとうございました！

ウルルンに関して、このような貴重な体験をさせて頂いた人に、誠に感謝しています。大事だと再確認したことを箇条書きします。

- チャレンジする事
- 熱意を示す事
- 自分を信じる事
- 常に感謝の気持ちをもつ事
- 自分が動けば、状況は開ける事
- 笑顔に国境が無い事
- 大事な事は何度も繰り返し言う事  
(歯をきれいに・ナハイン クティトゥ  
ポ)
- 患者さんの治療方針を立てるには、カウ  
ンセリングが最も重要な事
- ドイツ平和村への募金を集める事
- 難しい症例に一步踏み出す勇気を持つ事
- 患者さんの期待に答えるサービスを提供  
する事



本当に多くのことを学びました  
ご声援、ご協力、ありがとうございました